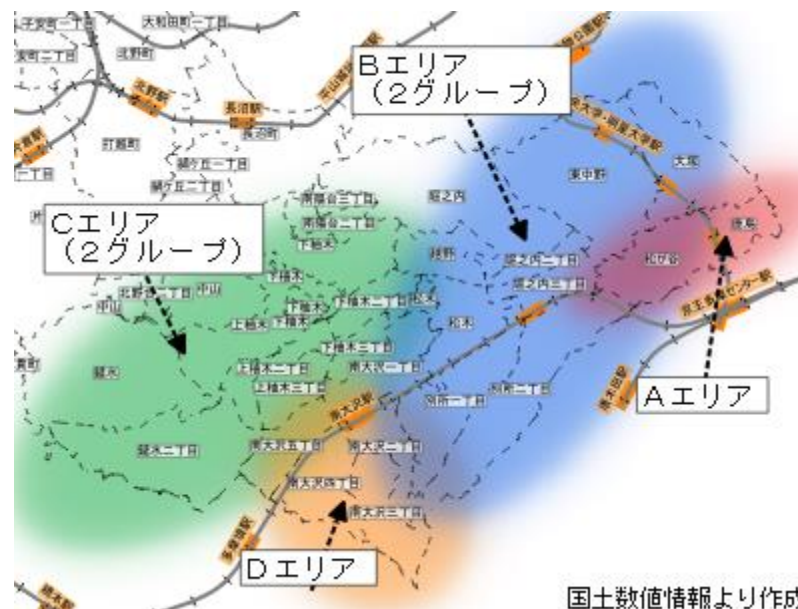


Aグループ



Aグループ 取組みテーマ：高齢者の孤立化への対応・コミュニティの場づくり

課題

〈社会的な繋がりの不足〉

- ・気軽に出かけられる場所がない
- ・若い人と地域住民の接点がない
- ・地域住民でやっていた子ども会館のような施設があったが、指定管理者運営の児童館ができたことでやめてしまい、子どもとの接点が減少
- ・ベーゴマや刃物を使う竹とんぼ作成等昔なじみの遊びは、安全面への配慮から児童館ではやっておらず、昔ながらの遊びを教える場がなくなってきている

〈学生にとっての魅力の欠如〉

- ・都心から遠いため住むエリアとしては考えにくい
- ・健康的な食生活を支えてくれる場があったら利用する

〈場の利用の制約〉

- ・イベント等での空店舗の臨時利用には商店会やテナントの協力が必要
- ・広場部分のイベントでの使用が認められなかった
- ・空店舗利用料が多摩センターと同等水準で借りづらい

資源

〈近隣センター〉

- ・スーパー跡地や空店舗
- ・店舗の軒先
- ・松が谷近隣センターの広場部分
- ・シルバーふらっと相談室

〈人的資源〉

- ・年齢に関係なく元気な高齢者
- ・何か取り組みたいと思っている人
- ・松が谷高校から、演劇部の発表の場について相談されている
- ・大学生(定住しなくても通うことができる)

〈取組活動〉

- ・納涼祭など松が谷高校と地域住民の協働の取組み
- ・今年10月に八王子市の総合防災訓練が松が谷中学で実施予定
- ・ふらっと相談室では栄養教室など孤立化防止の取組みを展開予定
- ・夢あるまちづくり協議会による多様な取組み・イベント

〈公園〉

- ・公園は地域住民が気軽に訪れることのできる場
- ・公園法の改正により公園の使い方の規制が緩和

解決策・アイデア

【イベント等による地域との交流促進】

〈近隣センターを活用した取組み〉

- ・松が谷近隣センターのスーパー跡地を活用して知り合いの農家に協力してもらいイベント的に産直所を開催し、高齢者の外出機会を創出する
- ・ふらっと相談室が主催するイベント等に地域が協力
- ・地域主催でふらっと相談室のスペースを借りて高齢者が子どもたちにベーゴマを教えるなど交流を図る
- ・一時的な利用で商店街の空店舗や軒先を借りる
- ・近隣センターをより活用するため市の協力も得て、管理者のJKKと交渉する

〈防災訓練を活用した取組み〉

- ・松が谷中学で行われる八王子市の総合防災訓練で、松が谷高校の学生と地域住民で協力して炊き出しを実施
- ・大学生も運営の手伝いや料理を通して高齢者との交流に繋げる

〈公園を活用した取組み〉

- ・自然学習や交流会、防災訓練などを公園で実施し地域住民が同じ体験を共有することで、地域コミュニティの醸成に繋げる

Aグループ 取組みテーマ：高齢者の孤立化への対応・コミュニティの場づくり

課題

〈空店舗利用の制約〉

- ・イベント等での空店舗の臨時利用には商店会やテナントの協力が必要
- ・空店舗利用料が多摩センターと同等水準で借りづらい

〈自動車の駐停車〉

- ・気軽に出かけられる場所がない
- ・団地内で周囲の柵やポールによって住棟付近まで車が寄せられず、高齢者等に不便で、また、親戚が訪ねてきた際や福祉車両が停められない

〈主体間の連携不足〉

- ・市が提供する支援メニューの情報が十分に伝わっていない
- ・個々の動き・取り組みの連携が取れていない

〈繋がり不足〉

- ・日常的な見守りが必要

資源

〈拠点として活用が考えられる場〉

- ・団地ごとの集会所

〈人的資源〉

- ・年齢に関係なく元気な高齢者
- ・地域包括支援センターのボランティア
- ・様々な取り組みを行なっている人や何か取組みたいと思っている人がいる。

〈取組活動〉

- ・保健福祉センターによる健康体操やサポーター養成講座など市の取組みメニュー
- ・ふらっと相談室では栄養教室など孤立化防止の取組みを展開予定
- ・夢あるまちづくり協議会による多様な取組み・イベント
- ・自治会・管理組合単位での安否確認
- ・30番地、49番地、52番地集会所でのふれあい・いきいきサロン活動
- ・松が谷54番地住宅とシルバーふらっと相談室の見守り連携

解決策・アイデア

【日常的な取組みや見守り】

〈小さな拠点を利用した取組み〉

- ・団地の集会所等で、10人集まれば保健福祉センターが無料で協力し、健康体操等のイベントを開催できる
- ・階段室ごとでのお茶飲み会などの近所付き合いによる日常的な見守り

〈主体間連携による見守りの体制づくり〉

- ・団地単位での見守り活動を連絡協議会やふらっと相談室等と連携し、高齢者を地域みんなで見守る
- ・ボランティアが見守りできるように、まず管理組合ベースで見守り体制を立ち上げ、高齢者の孤立化を防止

B-1グループ



B-1グループ 取り組みテーマ：自然と人材の活用について

課題

〈自然が有効・適切に活用されていない〉

- ・自然・みどりが活用されていない
- ・自然保全は経済行為になっていない
- ・自然は公有地でなく個人所有地

〈自然保護の問題〉

- ・人との共生
- ・ビオトープやドッグランに違和感
- ・貴重な生物・昆虫・植物は情報をだすと盗まれてしまう
- ・里山の野ざらしは×
- ・田んぼが減ってカエルが減っている

〈公園が利用しづらい〉

- ・マルシェを開催する場合許可が必要
- ・学生が気軽に公園を利用したくても情報がない

〈特徴のある景色がない〉

資源

〈自然〉

- ・原風景・原体験となる景色
- ・里山
- ・都市公園（交流の場となっている堀之内寺沢里山公園など）
- ・緑地
- ・散道
- ・生物（中央大で育てているホタル、サンショウウオ、魚、ハクビシン、アライグマ、ウシ、ヤギ、タヌキ、キツネ、ウサギ）

〈農業〉

- ・生産緑地・農地・農業（体験農園）
- ・マルシェ・牧場・農地
- ・都心に近い農業の生まれる場

〈生活基盤〉

- ・交通の便、飲食の利便性

解決策・アイデア

〈自然を活かした教育学習・イベント〉

- ・小学校での社会科見学
- ・由木の文化を発信できる場づくり
- ・炭焼き施設整備
- ・バードウォッチング
- ・泥んこ運動会・ハイキングなど気楽にできるイベントの開催
- ・イベント運営（社会体験）との連携
- ・資源の情報を集める

〈生活基盤の充実〉

- ・子育て施設・保育園の整備
- ・人気店の誘致（スタバ等の飲食）

〈シンボル景観の形成〉

- ・モノレール通りの活用

B-1グループ 取組みテーマ：自然と人材の活用について

課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈世代間の交流不足〉

- ・地域・世代の交流が少ない
- ・交流の場がない
- ・若い人・学生が住まない(働く場が近くにあれば学生も八王子に住むこともある)
- ・大学は地域の資源になっていない
- ・学生ボランティアは強制的に参加させられない

〈取組める仕組みがない〉

- ・個人の頑張りだけでは難しい
- ・個人プレーにしないためにパワーでなくてシステム整備が必要
- ・仕組みがあっても課題がある
- ・取組が周知・共有化されていない
- ・協働作業がないと続かない
- ・人材を育てる
- ・お金が必要
- ・店舗の運営が難しく補助が必要
- ・エリア内でも特色が違う
- ・このような取組を議論する場や仕組みがない

〈コミュニティの場と活動組織〉

- ・福祉施設・コミュニティカフェ
- ・多世代コミュニティ
- ・コミュニティスペース・場所
- ・東中野3地区交流拠点(バーベキューはできない)
- ・コミュニティの受け皿として消防団・自治会
- ・NPO・コーディネーターなどが主体

〈大学や学生〉

- ・中央大学社会連携部
- ・東京薬科大学
- ・学校運営協議会(情報発信)
- ・学生
- ・教育施設が多くあり、全世代がまんべんなくいる

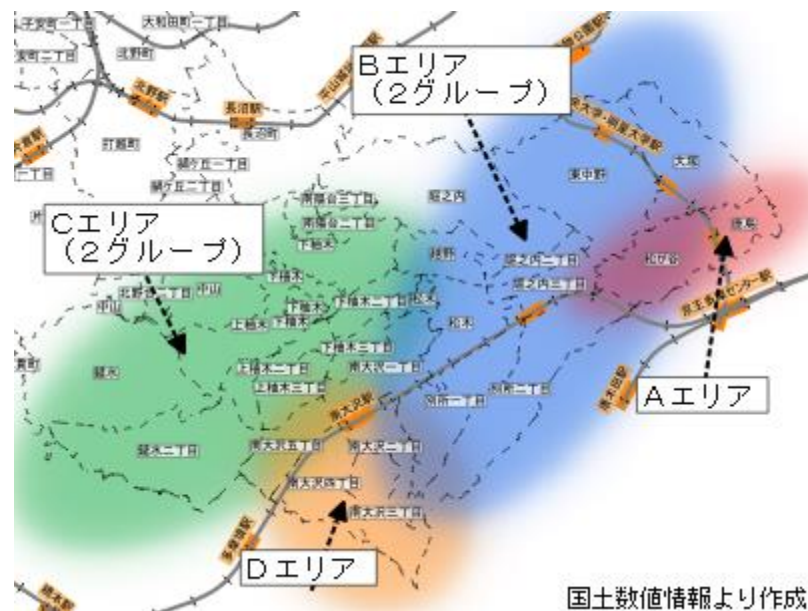
〈コミュニティの場づくり〉

- ・コミュニティ体験
- ・コミュニティスペースづくり

〈大学・学生の活用〉

- ・まちの活動に参加すると授業の単位がもらえる
- ・学生は消費でなく企画で活用
- ・企業のマッチング、就活できる場所づくり
- ・大学内での地域情報の発信

B-2グループ



B-2グループ 取組みテーマ：自然と人材の活用について

課題

〈まちのイメージがない〉

- ・大学の多いまちとしてのイメージ(学園街らしさ)がない(例:国立の桜並木通り)

〈情報発信の不足〉

- ・地域の情報紙などエリアに特化した情報がない
- ・自治会報はあるが関心をもってもらえない
- ・観光マップ等はたくさんあるが地域住民は知らない、手軽に入手できない

〈景観がいかされていない〉

〈自然や公園の活用不足〉

- ・学生等は公園など地域の資源を知らない
- ・自然が有効的に活用されていない
- ・平らな公園がない、子供がボール遊びなど自由にできない
- ・公園が有効活用されていない
- ・緑が多く暗い

〈活動参加が踏み出せない〉

- ・ボランティアをしたくても第一歩が踏み出せない(ボランティア参加のきっかけがない)

×

資源

〈情報源〉

- ・季節の見所マップ(フュージョン長池など)・巨木マップ・ウォーキングマップなど観光資源の資料
- ・FM八王子や市の広報誌など発信力のある媒体

〈多様な空間〉

- ・オープンスペースが多くある
- ・まち全体が公園みたい(里山や長池公園など自然体験ができる場が多い)
- ・大平公園の芝生広場
- ・坂＝健康維持に良い
- ・ウォーキングに適する道が多い

〈人的資源〉

- ・ボランティアをしたいリタイア組(シニアクラブなど)

〈活動団体〉

- ・指定管理者制度による八王子市東部地区公園を管理する団体スマートパークス袖木
- ・志民塾・NPOなど市民団体や個人による多様な活動
- ・VIA長池のコミュニティスペース(子育て支援情報などを提供)

=

解決策・アイデア

〈地域に即した情報発信〉

- ・地元の人がまず地域をよく知る
- ・季節毎のみどころ情報の発信
- ・坂の多い健康なまちのPR
- ・駅前のコンビニや駅にマップを置いてもらう
- ・FM八王子市や市の広報誌の各地域版など地域毎に特徴ある情報の発信の工夫
- ・FM八王子で大学生が地域情報を発信する(大学と地域の連携)
- ・公園マップのデジタル化、HPの充実等、誰もが見れて書き込めるサイトの活用促進

〈まちの特長を活かした活用法〉

- ・魅力を良く知る地域の人が遊びのリーダー、サポート
- ・公園を活かした野外コンサートや上映会、ウォーキングコースを活かしたイベントの開催

〈人と人・活動団体とのマッチング〉

- ・ボランティアセンターや地域の市民活動支援センターの拡充など、人同士、団体同士、人と情報のマッチングする場づくり
- ・情報と人のマッチング拡充には学生の時間とノウハウをアルバイトとして活用

〈ハード面の整備〉

- ・無電柱化の推進
- ・公園等を明るくするLED化あ

B-2グループ 取組みテーマ：自然と人材の活用について

課題

〈担い手不足〉

- ・若い人(学生など)がなかなか地域イベントに参加しない
- ・顔ぶれがいつも同じ
- ・ボランティア意識が低い

〈維持管理が大変〉

- ・落ち葉など維持管理が大変

〈集客力のあるイベントの不足〉

- ・南大沢駅前のような集客力のあるイベントができない(商店街がない、駅前広場がない)
- ・地域の大規模な祭りがない
- ・イベントの連続性・継続性がない

〈コミュニティのつながり〉

- ・地域の結びつきが弱い
- ・団体や活動間の連携が薄い

×

資源

〈人的資源〉

- ・ボランティアをしいりタイア組(シニアクラブなど)
- ・小中学生や大学生

〈環境資源〉

- ・いろんな植物がある
- ・自然体験をできる場
- ・環境学習をできる場
- ・歴史的資源が豊富(長池見附橋など)
- ・大学で地域歴史文化のアーカイブの授業・研究対象(例:長池)

〈活動団体〉

- ・学生ボランティアが単位を取得できるイベント(フラワーフェスティバルなど)
- ・人が多く集まるイベント(写真展など)
- ・小中学校生も参加のクリーンデー(年4回)・炊きだし

=

解決策・アイデア

〈参加者にメリットある企画〉

- ・大学生にとって社会経験や就職に有利な経験ができるイベント企画
- ・FM八王子で学生による企画・発信
- ・大学生と企業のコラボ企画
- ・参加すると一人暮らしの学生が喜ぶような食を提供できる企画
- ・同じ趣味で大学と地域が繋がる(例:大学サークルと地元サークルの合同練習や試合)

- ・落ち葉拾いや清掃活動をポイント制にし、家賃や地元店でポイント活用
- ・地域のお困り事の体制整備(有償)
- ・高齢者が地域の管理を担う仕組みづくり

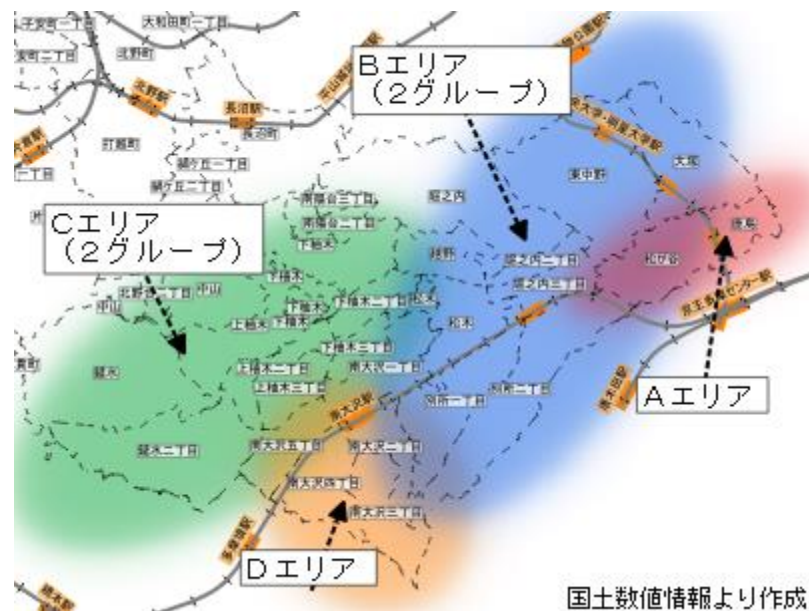
〈地域イベントや活動への参加者を増やす仕組み〉

- ・地域に愛着が生まれるような定期イベントの開催
- ・防災活動など関心の高いテーマの活用
- ・七頭舞などの踊り(例:よさこい)を通して、皆が参加しやすい地域のムーブメントをつくる

- ・小中学生からのボランティア教育
- ・課外活動や農業体験・環境学習の充実(教育との連携)

- ・学生が地域のオープンスペースを利用する代わりにボランティア活動(例:テニスサークルがコートを借り公園整備等の手伝い)

C-1グループ



C-1グループ 取組みテーマ：少子高齢化社会に対応した公共施設等の活用について

課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈まちの魅力づけを
どうするか〉

〈高齢化の住宅問題〉

- ・ひとり暮らしの高齢者
- ・住宅にエレベーターがない
- ・住宅への車寄せがない

〈子どもを見守る環境が整っ
ていない〉

〈学生・若い人の住める住宅
がない〉

〈誰ができるのか〉

〈リニア新幹線（橋本駅）〉

〈生活基盤施設〉

- ・鉄道・交通広場・バス・自転車専用道
- ・歩行者専用道路
- ・都市公園(赤石公園)・清水入緑地
- ・学童施設

〈大学〉

- ・地区に立地する大学(首都大学・多摩美大(建築科の作品・授業))

〈仕事場〉

〈賃貸・分譲の多様な住宅ス
トック〉

〈人的資源〉

- ・学生
- ・高齢者

〈リニアの恩恵を活かし活発な地域とするための業務系施設等の土地活用・土地利用転換の対応〉

〈交通利便・安全性の向上〉

- ・京王線の通勤時間の混雑・時間の解消
- ・南大沢駅前交通広場における送迎用停車スペースの増設
- ・駅周辺の利用されていない自転車専用走行区分の廃止

〈公園・緑地の市民農園の活用（賃料を管理にまわす）〉

〈地域で子供を育てる環境づくり〉

- ・子供のそばで働ける職場の環境づくり
- ・子供育ちを高齢者が支援

〈生活支援のコンビニストアの整備〉

〈高齢者の生き甲斐活動の創出〉

- ・高齢者が収入を得る場をつくる(例えば、働く世帯の子供のお世話など)
- ・人生100年婚活活動

〈UR・都公社の空き家ストックのシェアハウス活用〉

〈責任とプライオリティをもった取組〉

- ・アダプト制度を活用した公共施設の住民主体の維持管理

C-1グループ 取組みテーマ：遊歩道の安全・防犯・維持管理の対応について

課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈安全上の問題〉

- ・歩行者と自転車が共存で危険
- ・幅が狭く危険(宮上中学校南側)

〈防犯性の問題〉

- ・暗い
- ・不審者への対応策がない
- ・子供が避難できることも110番がない
- ・見守れるような休むベンチがない

〈維持管理の問題〉

- ・ゴミが散乱
- ・除雪が進まない
- ・舗装や水路が壊れたまま放置
- ・舗装がアスファルトにかわり景観が悪くなっている
- ・地域住民が管理をした場合の責任が過大
- ・自転車専用道が整備されたが未活用

〈みんなで話し合い解決する組織・場がない〉

〈遊歩道〉

- ・歩行者と車が分離
- ・幅員が広く、長い、緑のネットワークとのつながり
- ・遊歩道のみで駅・学校・公園・買物などにアクセス可能

〈生活基盤施設〉

- ・商店街
- ・公園・緑地
- ・活動施設(学童・集会所)

〈遊歩道沿いの住宅〉

- ・沿道の趣味等の+α住宅

〈情報発信〉

〈人的資源・活動組織〉

- ・地域の組織(青少対・自治会)
- ・大学のスポーツクラブ・部員
- ・日本を代表する民間企業・団体で豊富な経験された先輩方の力(例:土木、建設、防犯)

〈自歩道の安全性を確保するため社会実験し住民の理解を得る〉

〈見守り量を増やす対策〉

- ・みんなが集まる集会所などを多くつくる
- ・不足している身近なコンビニ店舗をつくる
- ・沿道住宅を趣味・学習塾等の地域に開かれたプラス住宅にする
- ・街路灯を高くする、樹木の剪定
- ・防犯カメラ・警察への通報システムの整備
- ・ランニングチームによるトレーニングと併せた見廻り活動、犬の散歩を通じて人とのつながりもうまれるワンワンパトロール
- ・南大沢に買い物に来た人々が地域で散策してもらおう(散策マップの作成、イベントの開催)

〈大学の合気道・柔道・空手部員から護身術を学ぶ〉

〈住民主体の維持管理〉

- ・雑なこと・いやなこと、楽しいことをやる仕組みづくり(WSで友達になったので今後もつながりをつくっていききたい、例えば協議会)
- ・アダプト制度を活用し住民主体で管理
- ・フュージョン長池の写真を活用した維持管理システムの活用

C-1グループ 取組みテーマ：学生・若者層の定住策について

課題

〈子育てファミリーのまちのイメージ〉

〈仕事場が近くにない〉

- ・南大沢には急行が止まらないため通勤時間がかかる(とくに朝)

〈学生のニーズに対応した店がない〉

- ・23区の都心中心部(下北沢など)のごちゃごちゃ感がなく魅力がない
- ・コンビニ・弁当屋・コインランドリーがない
- ・安く個性のある飲食店がない(高幡不動にいく)
- ・バイト先がない(多摩センターぐらい)

〈大学と市民のかかわりが薄い〉

〈子育て支援施設が不足〉

〈学生・若者向け住宅ストックがない〉

- ・ファミリー向けの住戸規模が大きく、家賃が高い住宅が多い

×

資源

〈リニア新幹線(橋本駅)〉

〈企業〉

〈大学〉

〈人的資源〉

- ・学生

〈住宅ストック〉

- ・UR・JKKの賃貸住宅

=

解決策・アイデア

〈八王子・多摩ではない、南大沢のまちブランドづくり〉

- ・文化の核となるようなイベント開催

〈学生の起業家を育てていく〉

- ・企業との連携ではなく、学生が多摩で企業をつくる(南大沢シリコンバレー構想)
- ・駅近に安価なシェアオフィス
- ・学生と企業のインターフェースの構築(企業が学生に融資)

〈交流・活動・生活支援の場の整備〉

- ・駅近に若い人や現役世代の交流の場になる工作室
- ・南大沢総合センターにフリースペースを整備(ヘルプ永山のようなサークルか活動施設)
- ・大学が社会活動として場所の提供
- ・土地の使い方を柔軟に変えていく(駅前等に子育て保育園)

〈学生の生活を支援〉

- ・学生向けの食事提供
- ・南大沢地域を核にしたサービス施設

〈若者・女性活躍向け住宅ストックの整備〉

- ・UR・JKKストックを活かした安価な学生向け住宅の提供
- ・在宅勤務のテレワーク支援

C-2グループ



課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈地域住民の高齢化〉

- ・地域住民の高齢化
- ・空き家の増加
- ・不審者への気づきが不足がち

〈遊歩道の防犯性の問題〉

- ・木が生い茂り、街路樹の上側のみを剪定するため見通しが悪い
- ・自転車などの盗難被害あり
- ・夜道が暗い(照度が定まっていない、街灯の位置が高く足元まで明かりが届かない)

〈人的資源〉

- ・地域住民
- ・学生
- ・自転車を貸してくれる人
- ・就業者
- ・行政

〈賑わい・明かりを灯すことができる場〉

- ・子供が通う塾
- ・仕事場
- ・遊歩道近くの空き家

〈遊歩道を明るくする工夫〉

- ・街路樹の剪定方法を考える(樹木の枝を下から剪定すると明かりが地面に届きやすくなる)
- ・街灯の数を増やす、高さを低くする
- ・遊歩道の近くに職場や子供の塾を新たに作り明かりが灯る場所を増やす

〈見守り活動の拠点と内容〉

- ・遊歩道沿いに学生の居住場所をつくる
- ・空き家を活用した職場や、みんなが集まれる場を整備する
- ・遊歩道沿いに人通りを増やす
- ・夜間の見守り・防犯パトロール活動を行う
- ・安全性を確保するために地域内で無料バスの運行を行う

課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈コミュニティが薄い〉

- ・居住者の高齢化・孤立化
- ・世代間の交流が少ない
- ・地域内の情報・意識の共有不足
- ・団地間のつながりが薄い
(災害時などが不安、誰がイベントを行っているかわからない)

〈学生・若者層の生活ニーズに合っていない〉

- ・子育て環境としてはよい
- ・若者の居住地としては…
- ・都心まで遠い
- ・働く場所がない
- ・若者向けの個性的な店舗がない

〈若者層の住宅ストックが不足〉

- ・下宿学生・単身者向け間取りの団地マンションが少ない
- ・管理規定で住宅以外の活用ができない
- ・空き家の場所が共有できていない

〈多世代が関わる地域活動〉

- ・鍵水小学生と高齢者によるゴミ拾いと鍵水の歴史の紹介活動
- ・首都大(研究室など)と地域高齢者による地域サロンの定期的開催
- ・祭りなどの地域イベント

〈人的資源〉

- ・団地管理組合
- ・行政
- ・青少対などの地域組織
- ・料理や手芸の得意なゆとりある高齢者
- ・学生(首都大・中央大・多摩美)

〈拠点として活用が考えられる場〉

- ・空き店舗
- ・空き家(3丁目に多い)
- ・団地内集会所(一番街集会所等)
- ・賃貸住宅(リノベーション住宅)
- ・社員寮

〈コミュニティの場づくり〉

- ・複数団地が参加できるイベント(団地の開放)
- ・遊歩道の雪かき(利用者に声かけ)、大学生など若者の力を借りる
- ・ライフワークに合わせた多様な時間帯のイベントの開催
- ・共助の意識を共有する
- ・地域住民・高齢者・大学など複数世代が関わる地域サロンの拡大
- ・集会所などで、手芸・料理など高齢者の趣味を披露するイベントの開催(近隣住民との出会いの場を作る)
- ・拠点づくりをパブリックスペース(公園など)から広げて段階を踏む

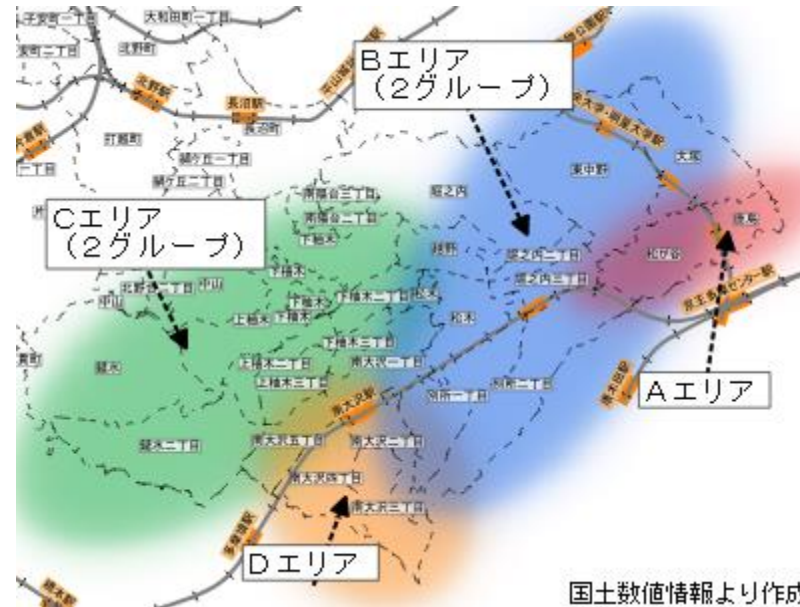
〈若者層と地域をつなぐ情報発信方法〉

- ・広報・回覧板とSNS・Webで情報発信(多様な年代が情報を受け取りやすくする)
- ・欲しいもの・譲れるもの、人的資源を相互供給する媒体(地域版メルカリ)
- ・子育て期Uターン支援(補助金など)
- ・空き家バンクへ登録を促す(外部発信)

〈若者層の空き室などの活用方法〉

- ・学生向け店舗の誘致、空き室などを活用した企業意欲のある学生向けリモートオフィス
- ・空き室等を利用した大学生による地域小中学生向け塾の開催
- ・学生・高齢者のキッチンシェア(自炊できない学生へ料理教室、高齢者の見守り活動)
- ・若者層定住に向けた団地マンションのDIYリノベWSの開催・単身世帯向け間取り改修

Dグループ



Dグループ 取組みテーマ：学生・若者世帯の定住化について

課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈まちの魅力 ・情報発信の不足〉

- ・住環境の良さの発信不足
- ・南大沢を訪れた人が団地のほうまで来てもらえる目的がない

〈学生の就労問題〉

- ・地域内に就職先がない

〈学校教育〉

- ・小学校区による教育の偏り
- ・学校に魅力・特色がない
- ・学生人数の減少によりクラブ活動が成り立たない

〈地域内に子供の居場所が少ない〉

〈地域特有の魅力〉

- ・人気のあるチクテベーカリー
- ・住みたくなるまち3位

〈取組活動〉

- ・学生とのイベント(今年で5回目)
- ・お祭り(子供が集まる場)

〈人的資源〉

- ・学生
- ・志の高い留学生
- ・企業
- ・首都大学

〈拠点として 活用が考えられる場〉

- ・商店街空き店舗・スペース
- ・スーパーのイートインスペース
- ・南大沢駅
- ・遊歩道

〈まちの魅力を情報発信する手段〉

- ・SNSを用いた情報発信を作る
- ・まちの魅力を発信するアンテナショップを空きスペースを作る

〈学生を定住につなげる取組み案〉

- ・学生から地域へのアイデアを募ることでまちと学生の距離を縮める
- ・事前に学生に地域を知ってもらい、地域とのマッチングを図ることで長期的な居住につなげる
- ・起業したい学生に空き室などの貸し出しなどの支援を行い定住を促す
- ・インターン合宿を行う

〈子供・地域住民の居場所づくり〉

- ・空きスペースなどを活用し子供・地域住民の居場所を作る

〈子育てに魅力的な 特色のある教育の検討〉

- ・通わせたいと思う魅力ある学校づくり
(芸術としての教育、自由への教育を行う全日制の私立小・中・高一貫校やインターナショナルスクールなど)

Dグループ 取組みテーマ：商店街空きスペースの活用について

課題

×

資源

=

解決策・アイデア

〈賑わいの不足〉

- ・地域住民の高齢化
- ・商店街利用居住者の減少
- ・まちのブランディング・情報発信不足

〈店舗運営〉

- ・生鮮食品の改善
- ・既存店舗の継続性
- ・イートインスペースの机・いすの使い勝手がよくない

〈店舗経営〉

- ・家賃が高い
- ・近隣と競合しない活用方法
- ・JKKの部分貸しができない

〈取組活動〉

- ・南大沢小学校での昔遊び
- ・地域の住民組織形成

〈拠点として活用が考えられる場〉

- ・商店街の空きスペース
- ・全日食チェーン
(年2回のクリーンディで全日食で食材購入)
- ・チクテベーカリー
- ・どんぐり喫茶店出張店(月曜日)

〈人的資源〉

- ・高齢者(アクティブシニア)
- ・大学生
- ・留学生
- ・中学生
- ・高校生
- ・JKK

〈空きスペースでの活動内容〉

- ・生涯学習や協働活動の拠点として空きスペースを活用する
- ・地域住民の表現の場としての画廊や子ども会の催しを開催する場にする
- ・地域の留学生による語学教室を開催する(ワンコイン)
- ・若者と高齢者の交流が生まれるような教室(将棋・オセロ・囲碁・卓球など)や、健康活動としてヨガ・太極拳教室を開催する
- ・子供の学習支援(学生・シニア世代によるボランティア)
- ・地域活動・ボランティアでの単位取得(学生)⇒多世代へのボランティア情報の発信

〈既存店舗と地域の協力体制〉

- ・全日食の良いところを発信する場所(コミュニケーションボード)を作成する
- ・全日食との共同催しや、既存店舗の食品を用いた料理教室を空きスペースで開催する

〈店舗運営のアイデア〉

- ・他店との競合を回避するため近隣店舗の休みを活用する

〈地域の話し合う場所

(つくる・つづける) >